

転落防止柵設置工の作業手順書

項 目	内 容	留 意 事 項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用資機材及び工具取扱確認 	<ul style="list-style-type: none"> 指示書内容の確認 安全打合せ書・チェックシートの確認 取扱説明書の活用
支柱設置位置確認	<ul style="list-style-type: none"> 支柱を設置する位置出しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 埋設物の確認を作業員全員で行う。
支柱建込み	<p>【鋼管の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋼管打ち込み。 鋼管が所定の深さまで打ち込まれたことを確認し、支柱を建て込む。 鋼管にモルタルまたはコーキング材を充填し、支柱を固定する。 <p>【ベースプレートの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンカー削孔。埋設物に注意して行う。 支柱建て込み。 	<ul style="list-style-type: none"> 埋設物に注意 支柱の垂直を確認。
ビーム取付	<ul style="list-style-type: none"> ビームを取り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ビームが水平になるよう、常に確認しながら取り付ける。 現場状況により、ビームを切断して長さを合わせるときは、切断工具の取り扱いには注意すること。
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した資機材を片付け清掃を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に置き忘れが無いように確認する。

作業編成(標準)			機材		資材		安全器具・保護具	
		名					ヘルメット	防塵マスク
		名					反射(自発光)チョッキ	耐切創用手袋
		名					警笛	防護服
							保護メガネ	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 1.機械作業は、有資格者が操作を行う。
- 2.吊り荷の下へは絶対に入らない。
- 3.作業機械の旋回範囲を確認し、立ち入らない。見張り員の設置と合図。
- 4.適切な材料管理に努める。(シート掛け、囲い、表示)
- 5.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 6.高さ2m以上の墜落・転落の恐れがある現場については、墜落制止用器具を必ず使用する。
- 7.一人作業の禁止